



スイス漆喰製品紹介



■ **カルクウォールNo.540**—コテで仕上げるスイス漆喰
石灰の細かな粒子がコテ塗りの立体感を引き立てます。厚みがつくので、スイス漆喰の効果を発揮し、高級感を演出します。

内外装用 ペースト状 25kg容器(約10m²分)・10kg容器(約5m²分)
全成分:消石灰、ブナセルローズ繊維、ブナセルローズ粉、石灰粒、石灰粉、石灰泥、チョーク粉、リンシードスタンドオイル(亜麻仁油)、水、アルミナ粉

■ **カルクファサードNo.500**—外壁専用のスイス漆喰

アルプスから採れる高品質の石灰石を主成分としながら、大きな面積の外壁でも扱いやすい施工性とコストバランスを実現しています。

外装専用 粉末タイプ 25kg袋(約13m²分)
全成分:消石灰、ブナセルローズ繊維、ブナセルローズ粉、石灰粒、石灰粉、白セメント、チョーク粉、でんぶん、アルミナ粉、鉱物顔料

■ **カルククリームNo.556**—DIYでも楽しめるスイス漆喰
カルクウォールをクリームのように滑らかにして、誰にでも簡単にコテ、ローラー、ブラシを使って仕上げるができます。

内装専用 クリーム状10kg容器(10-15m²分)・5kg容器(5-7m²分)
全成分:消石灰、ブナセルローズ粉、石灰粒、石灰粉、石灰泥、チョーク粉、リンシードスタンドオイル(亜麻仁油)、水、アルミナ粉

■ **ファルベ No.630**—スイス漆喰のメンテナンスに

全体の汚れが気になったら、ファルベを漆喰の上からローラーで塗れば、新品同様の美しさがよみがえります。

内外装用 液体 10kg容器(40-60m²分)
全成分:消石灰、ブナセルローズ粉、石灰粉、石灰泥、チョーク粉、リンシードスタンドオイル(亜麻仁油)、水、アルミナ粉、タルカム、二酸化チタン

Calk Façade

Calk Cream

Farbe

ひとと環境にやさしい住まいづくり

株式会社

イケダコーポレーション

☎0120-544-453

仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡

URL <http://www.iskcorp.com>

E-mail info@iskcorp.com



販売代理店



スイス・アルプスから生まれた天然本漆喰



天然スイス漆喰

Made In Switzerland.

Calk Wall
カルクウォール

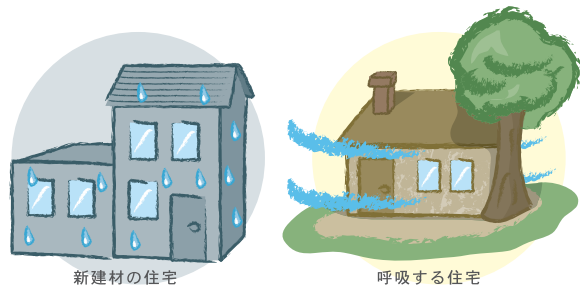
「呼吸する住宅」は スイスから生まれました

バウビオロギーBaubiologieとは、BAU＝家・建築、BIO＝生物、LOGOS＝精神をあわせた造語です。その意味は「住宅は第3の皮膚である」と言われるように、生物のように呼吸する住宅が、住む人を健康にするということです。

今から60年前にスイスで生まれて以来、健康で安全な住宅や暮らしを作る合言葉として、世界の建築家に広がっています。

元々は60年前のスイスを始めとする国々で、安全性を確認されないまま製造される化学品や建材、そしてそれらのために変わりつつある家造りや暮らしに警鐘を鳴らすために起こった運動なのです。

しかし、そんな運動も新建材ばかりで建てられる家造りをすぐには変えることはできませんでした。しかし、アスベストやシックハウスを始めとする、化学物質が起す数々の公害や病気が頻発し続けて、初めて建築家達が「呼吸しない建材で建てる家の危険性」に気づき、今バウビオロギーの考え方に基づいた住宅の重要性が知られ始めているのです。



新建材の住宅

呼吸する住宅

ではバウビオロギーは住宅をどう変えるのでしょうか？戦前の日本の住宅は木と紙と土で出来ていましたから、まさにバウビオロギーな住宅だったのですが、戦後の住宅は塩ビクロスの壁紙、木のように見えるフローリング、不十分な断熱材などの結果住宅に「結露」⇒「カビ」⇒「カビの胞子による呼吸障害」を起こしました。でもそんな新建材を呼吸する自然素材の漆喰や、無垢の木のフローリングに変えることで、素材自体の調湿効果により結露やカビの発生を抑え健康な暮らしに変えるのです。その上、バウビオロギーの考え方の中には「自然素材の持つ色の癒し効果」「本物の素材が持つ質感」などが暮らしにゆとりと満足をもたらす効果もあるのです。

made in

[スイス]ってどんな国？

What is Switzerland?



アルプスの少女ハイジの故郷スイスは、フランス、ドイツ、イタリア、オーストリアにまたがるアルプス山脈を中心とした、九州と同じくらいの広さの国土です。



標高差はなんと4,441mもある、アルプス山脈、ジュラ山脈、雄大な氷河、乳牛が育つのどかな丘陵、そして青い湖に囲まれています。スイスという国の名前は、古代ローマ時代に住んでいた古代ケルト人に由来し、以来ローマ人の征服、ゲルマン民族の侵入、カール大帝の遠征など歴史の数々を見守ってきました。今なお古代から伝わる伝統の風習を大切にする生活が残り、自然環境と人間社会の共生を早くから大切にしてきた国で、その一つとして古くから漆喰と木の自然素材に囲まれた家に住み続けています。

switzerland.

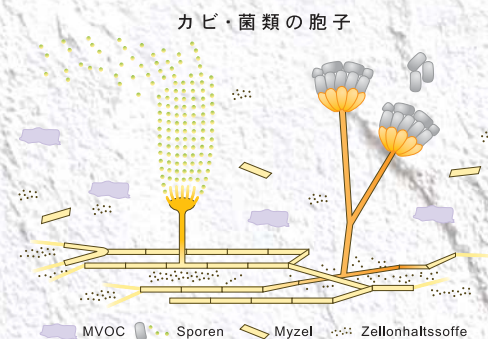


自然素材の安全性とは

スイス漆喰は古代からスイス地方に伝わる漆喰を現代の製法で再現したものです。合成樹脂などは一切含まず、スイスアルプスから産出する純度の高い石灰や、亜麻の花の油・アルプスの陶土・天然のセルロースなどを主成分とした天然成分だけで作られています。

カビから健康を守る

アレルギーやシックハウス、喘息の原因は住宅の化学物質と言われていますが、実は化学物質と同じくカビが大きく影響しているのです。カビは温度24度以上、湿度60%以上、Ph9以下のときに爆発的に発生し、室内に大量の胞子を放出します。その胞子を人間が吸い健康障害になるのです。でもこのカビの発生しやすい条件は日本では冬以外、一年中当たり前なのです。



[天然100%]は、

安全ですか？

しかし、天然だからといって安心はできません。安全の概念は年々厳しく変わっています。例えばアスベスト、天然鉱物で機能性が高く当時は「魔法の鉱物」として重宝されていました。それから30年、アスベスト(石綿)による塵肺や肺がんなどの健康被害を引き起こす恐れがあるとして大きな社会問題になりました。

スイスウォール製品は「安全とは情報開示である」と考えています。だから定期的に世界最高の化学物質測定機関で成分安全試験を受けるだけでなく、全ての製品の全ての成分を完全公開しています。「天然成分100%と完全成分明示」だけが「今日の安全」だけでなく「10年後の安全」も証明できる唯一の方法だと考えて「完全成分明示」に徹底してこだわっているのです。



科学的な成分分析で天然成分の安全性を確認する



Ph11以上の強アルカリ性の環境では、ほとんどの菌は生きてゆけない。

ではそんな有害なカビを防ぐためにどうしたら良いのか？それは太古からの知恵に答えがありました。

カビが大量発生するにはもう一つエサの要素が必要です。エサがなくてはカビといえども生きてゆくことはできません。そのエサの一つが化学物質の合成樹脂です。例えば塩ビクロスは空気を遮断するので結露を起こし、合成樹脂を含んでいます。ここに気温24度以上が加わると「カビの大量発生」の条件が整うわけです。

では塩ビクロスの代わりに壁に漆喰を塗ると？漆喰の調湿性で結露を防ぎ、漆喰の強アルカリ性がカビの発生を抑えます。もちろん天然100%ですから、エサである合成樹脂は含みません。

だから漆喰の壁、特に強アルカリ性の高いスイス漆喰は強力にカビの発生を防ぐ効果を持つことが古代から知られているのです。ちなみに塩ビクロスや土壁は一般的にPh9以下の酸性です。



漆喰の不思議な習性

スイス漆喰の主成分となるアルプス山脈の石灰層は今から2～3億年ほど昔、海の生物であるサンゴやアンモナイトなどが堆積して形成されたものです。そこから採れる石灰石は水や空気をきれいにする作用があり、あらゆる生命を守っています。



アルプス産出の石灰石



低温焼成したスイス生石灰



スイス漆喰って？

漆喰はヨーロッパ全域で3000年以上前から現在まで、ごく当たり前のように使われる壁材です。スイスでは特にアルプスから豊富に産出する、高品質な石灰岩を原料にした漆喰を使うことが現在でも盛んです。古来からスイス漆喰の強アルカリ性や、調湿性、そして空気を浄化する特性は暮らしを心地良く、快適に保つことが知られています。海に囲まれた日本の漆喰と違い海草やスサなどを入れません。スイス漆喰は、石灰と石灰が直接結合しやすいように天然の添加物を最小限に絞ることで、元の石灰石のように強く丈夫になるのです。

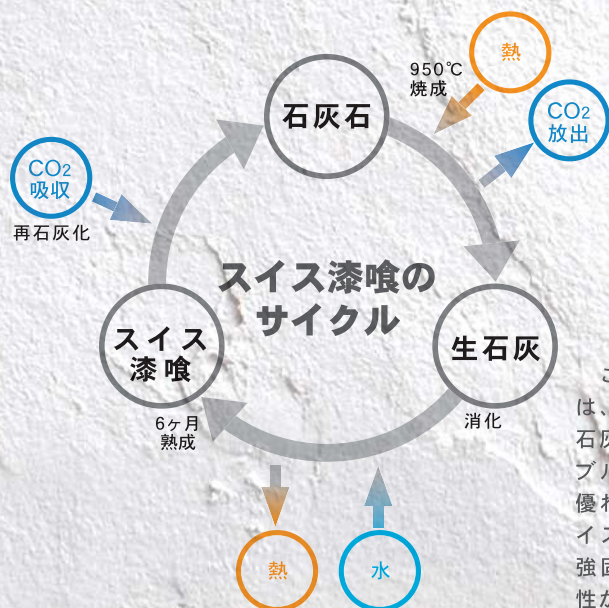


■主な特徴

強アルカリ性でカビの発生を抑える／
調湿性／消臭効果

[漆喰]って、

何ですか？



こんな石灰石から作られるスイス漆喰は、製造からあるサイクルを通して元の石灰石へと還る地球に優しいサステナブルでなおかつ、二酸化炭素を吸収する優れた性質が知られています。つまりスイス漆喰はこの再石灰化により、住宅に強固な石の壁を作るので、100年の耐久性があるのも道理です。



匂いが消える？

スイスでは漆喰は、王家のお城など高貴な場所での匂いや菌の繁殖を防ぎたい場所で使われてきました。その理由がスイス漆喰の強アルカリ性と呼吸性です。空気中の匂いの成分や有害な化学物質をスイス漆喰が吸着し、またPh11以上という他にない強アルカリ性が匂いの成分となる有機物を分解してしまうのです。だから、余計な匂いの付着を避け、香りを重視されるワインセラーでもよく使われるのです。





スイス漆喰のメンテナンス

家族で我が家をメンテナンス

スイス漆喰だから、少しだけメンテナンスしてあげれば、美しくエイジングして自分だけの上質空間ができる

●スイス漆喰の寿命って？

スイス漆喰はCO₂を吸収し硬化する「再石灰化」によって元の石灰石へと還ります。糊や接着剤で固まっている土壁とは違い、経年によって砂が落ち始めることがないのです。しかし100年間メンテナンスが不要という訳でもありません。天然素材だけで出来た漆喰ですから簡単なメンテナンスさえすれば、あなたの快適な暮らしを一生見守る壁になるかもしれません。そんな漆喰を生かすために、ここからは大切に使い続けるための、誰でも簡単に出来るメンテナンスを紹介します。

●部分的に汚れたら？

照明のスイッチ周りなどの手垢の汚れは、消しゴムで簡単に落ちます。油やマジックなどの消しゴムでは落ちない汚れは#400番程度のサンドペーパーで軽く磨いてみてください。

注意:水を含んだ布などで拭くと、汚れが水に溶けて漆喰壁の奥に入っていきますので、避けてください。

●汚れたときはどうするの?全体的に汚れてきたら

スイス漆喰は天然100%ですから静電気を起こしません。空気中のチリや排気ガスが静電気で集まって、汚れやすい塩ビクロスとはずいぶん違います。でもやっぱり年月とともに全体的に経年変化をしていきますので、塗り立ての頃に戻りたいと思ったら、専用のスイス漆喰塗料「ファルベ」をローラーで上から塗ってください。お気に入りの漆喰の模様はそのままに、塗りたての美しさに戻ります。

●ぶつけてはがれてしまったら？

スイス漆喰のペーストをはがれた部分に充填して、平らにしてください。仕上げに模様がついている場合は、コテやスポンジで周りの模様に合わせてみます。最後に#400番程度のサンドペーパーで軽く磨いて、目立たないようにすれば仕上がりです。

●小さな割れを見つけたら？

歯ブラシにスイス漆喰をつけて、割れた部分にすり込みます。翌日にはもう硬く固まっていますので、上から#400番程度のサンドペーパーで軽く磨いておけば、割れは埋まってほとんどわかりません。



●もしカビが出たら？

強アルカリ性のスイス漆喰ですが、年月が経つと中和していきますので、湿気が続く場所ではカビが出る可能性もあります。カビが出たら、まず乾いた空気を部屋に入れて半日程度換気し、漆喰の湿気を放出します。その後天然エタノールを拭きつけカビ菌を布で拭き取り、良く乾燥させます。最後にスイス漆喰塗料「ファルベ」をローラー又はハケで上から塗れば、もとの通り強アルカリ性に戻り、カビは死滅し、カビのシミも消えてしまいます。



「カルクウォール」で暮らしてみても
質感がカッコいい
まっ白な壁になりました。

千葉県市原市 T様

設計・施工 SUDOホームちば <http://www.sudo-con.co.jp/sudochiba>



まっ白な家にしたいという憧れ

新築にするときは、自然が残る落ち着いた場所がいいなと思っていました。日あたりが良く眺めが良い土地でのびのび暮らせたらと…
図書館の本で見た海外の街並みは、まっ白な塗り壁が塗られていて、そのきれいさにいつか家を建てる時はまっ白な家にしたいという憧れがありました。もともと趣味で集めていたアンティークなどの雑貨が似合う家が良かったので、床は無垢で壁は漆喰、水周りにはタイルなど北欧のような自然素材を使った家が理想でした。それに、住んでいくうちにあじわいが出る家にしたかったというのも、自然素材を使った理由です。中でも漆喰は、調湿や防臭効果があることも期待していました。



2Fのオープンスペース。自然と生活が一体化している感じがします。小物もおしゃれですね。

そこで、家を建てることになったとき工務店から奨められたのが、スイスの天然漆喰「カルクウォール」です。内装も外装もこの漆喰で白く仕上げました。床や梁には無垢を使い、できるところは自分達でリボスの自然塗料を塗りました。
そうしてできた2FのオープンスペースのLDK(写真:上)は温もりを感じる空間になりました。カルクウォールの外壁にロートアイアンでつくったオリジナルの表札も、友人にすごく評判がいいんですよ。
前の家は内装がクロスだったので、料理の匂いは染み付くし、外装も年数が経つと汚れて、ただの汚い壁になっていました。今はカルクウォールの壁がまっ白で、中も外もとにかく質感がカッコいいので私も主人も気に入っています。それに、内装は期待していた消臭効果で、料理の匂いが次の日にはすっかり消えています。もっとたくさんの人にこの素材を体感してほしいと思うくらいです。



まだ子どもが小さいですが、いずれは1Fの部屋を自分で白く塗装して子ども部屋にしたいと思っています。お庭もガーデニングしたり、デッキやフェンスのDIYに挑戦してみようと色々夢が膨らみます。時間をかけながら、自分の好きな空間をもっと広げていきたいと思っています。





「カルクウォール」で暮らしてみても 自然とも、ご近所とも いいお付き合いができる家。

兵庫県西宮市 G様 設計・施工 株式会社 oh! <http://www.ashiya-oh.co.jp/>



きれいな白い家が生んだ 新しい「人とのふれあい」

わたしの家は、カルクウォールの白い街並みの中にあります。遠くから見ても白く目立つのでとてもわかりやすく、近所の方もこの白い外壁を目印にしているようです。「あの白いおうちきれいよね」とバスの中で話題になっていたこともありました。その時は、ちょっと恥ずかしかったですが、嬉しかったです。最近女性向けのインテリア誌にもよく載っていて、ご近所の方に「雑誌に載ってましたね」と声をかけていただいたこともあり、家の外壁がきれいなだけで人とのコミュニケーションが増えた気がします。

まっ白な「カルクウォール」は、この分譲地を手掛けられた女性デザイナーさんが選んでくれました。「見た目も美しいし汚れにくい。それにすごく断熱効果がありますよ」と聞いていました。



ライトアップすることで昼間とは違う表情が楽しめます。

この夏はとても暑かったですが、カルクウォールを外壁にすると部屋の中が涼しいと聞いていたので、クーラーはあえて取り付けず、暑さに我慢できなくなったら取り付けることなく一夏を過ごすことができました。同じ分譲地に住む方も、クーラーを一度も作動させていないと聞いて、すごく断熱の性能がいいんだと思いました。電気を無駄にしないので、環境にもいいと思います。

冬は薪ストーブを使っていて、それ1台で部屋全体が包み込まれるようにあったかいです。

この家には1年半くらい前から住んでいますが、デザイナーさんに聞いたように全然壁の汚れが気になりません。外壁がまっ白だと庭のグリーンも良く映えるし、夜はデッキライトや部屋のあかりがあたりよく見えるのも気に入っています。最近は夏の間ぐんぐんと成長した庭の植物のお手入れをしながら、木の実や種を収穫するのが楽しみです。お隣のおうちもカルクウォールの外壁で、植物を上手に育てるコツを教えてもらったりと自然と仲良くなりました。白い街並みがきれいなので、自分の家のまわりもきれいにしておこうと心がけるようになりました。



漆喰で天然素材のくらしを楽しむ



ナチュラルであたたかなインテリア



柔らかな光に包まれる優しい雰囲気



グリーンが映える
白く美しい外観

